

特集 2 : Clinical and Experimental Nephrology (CEN) の歩み

Springer Journal の国際展望と CEN

深田良治

はじめに

2009年6月に横浜で開かれた第52回日本腎臓学会学術総会において、表記の題名で皆様にお話しできるチャンスをいただいたことに感謝いたします。

また今回、再度機会をいただいて投稿という形でわれわれシュプリンガーの考え方を紹介させていただくことになり感謝致します。

世界の STM 論文総数は

近年、「情報が多すぎる」、「情報の洪水におぼれてしまうのではないか」などと、情報の量が増えたことに対する警告とも言うべき指摘をされることが多い。

一般的にも、またここに問題とするサイエンス(S)、テクニカル(T)、メディカル(M)、略称 STM の分野においても、情報量には著しい伸びがみられる。

1. 英国のロンドンに本部を置く国際 STM 出版社協会

国際 STM 出版社協会(The International STM Publishers Association)は、世界の大手の出版社をはじめ約400の国際学術出版社が加盟する業界団体である。この協会が2008年4月に発表した「STM出版の概要と研究成果に与える付加価値」というポジションペーパーは、先進諸国におけるSTM出版社の活動の内容と経済的規模を当事者である出版社の立場からみており、かつ中立的な内容となっているので注目されるべきペーパーである。2009年4月には日本語訳も出版され、STM協会のホームページには英文のオリジナルと公式日本語訳が表示され、誰れでもダウンロードできる。

国際 STM 出版の規模

世界中で約2,000社の出版社が活動を行っており、年間約140万件のピアレビューされた学術論文、原著論文が出版されている。

国際 STM 出版協会のホームページは：<http://www.stm-assoc.org>

先述したポジションペーパーの中の注目すべき点は下記の通りである。

1) 出版される論文の数および学術雑誌のタイトル数は、それぞれ年平均約3%と3.5%の割合で着実に伸びている。研究者数も、年約3%という伸び率で継続的に伸びており、現在では、世界中に約550万人の研究者が存在していると報告されている。

2) STM ジャーナルの出版は、過去10年のうちに、主として紙ベースの活動から完全にオンライン化された電子ベースの活動へと転換を遂げた。

3) 約2,000社のSTM出版社の組織は、学会、大学出版局、独立系出版社で構成されている。それぞれのシェアは、学会がおおよそ30%、大学出版局が4%、独立系出版社64%である。世界全体で約9万人が雇用されており、うち3万6,000人(40%)がEU内で雇用されている。その他世界中で2~3万人のフルタイム雇用者が、サプライヤー(印刷、電子出版用データ処理)やフリーランサー、外部編集者として従事し、STM出版活動によって間接的に支えられている。

2. 2008年の世界での STM 論文は 140 万件

約140万件のSTM論文の大部分が英文原著論文であり、その論文が掲載されているSTM雑誌は約2万タイトルというのが一般的な理解である。大事なことは、この約140万件の原著論文の総数が毎年3.5%以上の割合で伸びていること。例えば2008年に約140万件であった原著論文数は、5年後の2013年には約157万件に到達するということである。この総数中、日本発の論文数については、さ



図 1 シュプリンガー社の出版物の内容・規模

さまざまな計算方法があるが、推算では年間約 10 万件あまりとされている。仮りに年間 10 万件の STM 論文が日本から発表され、1 論文につき平均 2.5 名の研究者がかかわっているとすると、毎年約 2.5 万人の研究者が英文論文で世界へ向けて発信していると言える。

シュプリンガー社

1842 年にドイツのベルリンで発足した STM 出版社がシュプリンガーフェアラークであるが、現在では約 60 カ国に事業所を有し、全従業員数 5,500 人余りのグローバルな出版社となった。STM 出版業務で最も規模が大きいのが専門雑誌、ジャーナルの発行点数であり、シュプリンガー社はオランダのエルゼビアに次いで世界第 2 位である。2008 年の雑誌の総数は年間 1,913 種類であった。単行本とシリーズものはシュプリンガー社の最も得意とするメディアであるが、その合計は年間 3,778 タイトルで、2 位の英国のインフォマグループの総計 3,651 タイトルを上回り、世界で第 1 位となっている(図 1)。

シュプリンガー・ジャパン社の出版と Clinical and Experimental Nephrology の発展

現在シュプリンガー・ジャパン社では、60 誌余りの日本の学会誌の英文版の発行を行っている。われわれのモットーは「世界の情報を日本へ、日本の情報を世界へ」であり、60 数種の日本の学会誌、年間合計約 4,000 件の英文論文が発表され、その大部分が日本の研究者および日本に住所がある研究所(アフィリエイト)の研究者のもので、シュプリンガー社全体の論文数の 3.5 %が日本発である。

ここで日本腎臓学会の英文雑誌である「Clinical and Experimental Nephrology」(以下、CEN)の発展の歴史をみると、下記のようになる。

- 1997 年 創刊
- 1999 Springer Verlag から出版開始
- 2003 MEDLINE/PubMed 収載
- 2006 電子投稿査読システム導入
- 2008 オンラインファースト開始
- Quarterly から Bimonthly に
- Current Contents, SCIE 収載

表 Clinical and Experimental Nephrology の閲覧可能な施設数

地域	施設数
アフリカ	24
米国・カナダ・南米	585
アジア・オーストラリア	897
ヨーロッパ	3,378
合計	4,884

SpringerLinkの使用頻度は急速に増加している！

SpringerLink Fulltext Journal Article and eBooks Section Requests 2006~2008

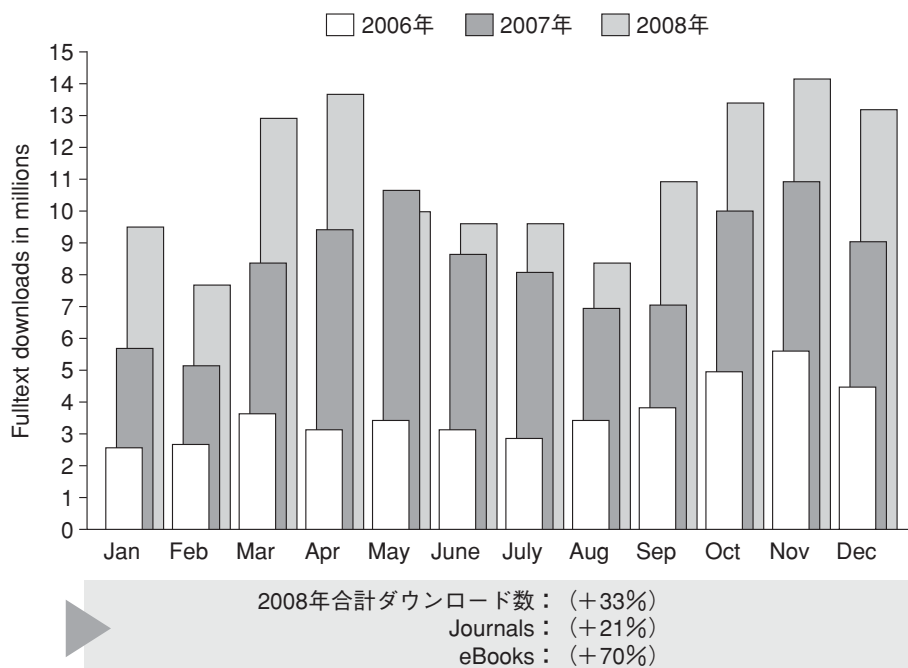


図 2

シュプリングラー社のメインのプラットフォーム “シュプリングーリンク”

シュプリングーリンクと呼ばれ、世界の 400 以上のコンソーシアムと契約、合計約 3 万 5,000 の研究機関で使われているオンライン・ジャーナルである。このプラットフォーム上には 2008 年現在 1,957 誌の英文誌が搭載されている。「CEN」誌は、シュプリングーのグローバル契約により世界中の約 4,900 の研究基幹図書館で閲覧可能となっている(表)。

シュプリングーリンクの使用頻度—ユーザー

シュプリングーの電子出版のプラットフォームがシュプリングーリンクであり、2006 年までは 1,500 タイトルのジャーナルの内容—コンテンツが主であったが、それと同時に全ジャーナルのバックナンバーを創刊時の第 1 巻 1 号までさかのぼってデジタル化して、約 200 万レコードを追加搭載し、さらに 2005 年より始まったシュプリングー・eBooks のコンテンツ、約 3 万タイトルの単行本、シリーズ本、ハンドブックスなどを搭載して、全体のコンテンツの量が大きくなった。世界の 3 万 5,000 カ所の研究所と図書館での使用頻度—ユーザーも毎年増加し、2008 年



電子プロモーションの1例：
 2008年11月Nephrology関連の研究者約16,000人へのEメール（1カ月間のフリーアクセス）
 ↓
 ダウンロード数の増加
 フルテキストダウンロード数（+45%）

図 3

のフルテキスト・ダウンロード数は前年比で 33 %増加している(図 2)。

CEN 誌の使用頻度—ユーセージとマーケティング

シュプリンガーリンクの全体平均の使用頻度をみても、そのなかで増加が著しいのが日本腎臓学会誌-CEN 誌

である。2007 年からの 1 年間のフルテキストダウンロード数の増加は実に 45 %に達している。CEN のコンテンツの向上がより多いユーセージとなって現われていることは、編集委員会の先生方のご努力の賜物と思われる。

シュプリンガー社としてもこの状況に満足することなく、より一層努力して、ドイツ本社と協力し国際的マーケティング手法を十分駆使し、グローバルな市場でより積極的にプロモーション活動を展開していく所存である(図 3)。